YAMAHA

J

YSP-4300/YSP-3300

[YSP-CU4300 + NS-WSW160 / YSP-CU3300 + NS-WSW160]

簡易接続・操作ガイド

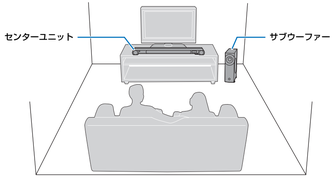
日本語

外部機器を接続して本機で再生を楽しむまでの手順を説明します。詳しい内容については取扱説明書をご覧ください。

「付属品の確認」（☞ 取扱説明書５ページ）で、同梱されている付属品がすべてそろっていることをご確認ください。外部機器の機能や設定、操作については、ご使用の外部機器に付属の取扱説明書をご覧ください。
センターユニットのイラストはYSP-CU4300を使っています。

設置 ▶ 接続 ▶ 設定 ▶ 再生

YSP-4300 ／ YSP-3300 を設置しましょう

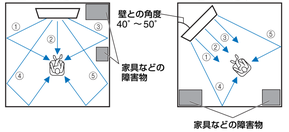


センターユニット
- 左右の壁の中央に設置してください。
- テレビの前にテレビのスタンドをまたぐように設置してください。
  テレビのリモコン受光部を隠してしまう場合は、「テレビリモコンリピーター機能」を使います（☞ 取扱説明書 13ページ）。
  テレビのスタンドが高くてまたげない場合は、センターユニットの高さを上げます（☞ 取扱説明書 13ページ）。
- 視聴位置となるソファーなどが本機の正面になるように設置してください。
- センターユニットと視聴位置の間は 1.8m以上離してください。

サブウーファー
- 壁の反射を防ぐために、サブウーファーの正面を少し内側に向けてください。
- ラックに設置する場合は、十分な放熱スペースと強度のあるものをお使いください。
- 本機のセンターユニットとサブウーファーは無線で通信します。センターユニットとサブウーファーのあいだに金属板があったり、金属製のラックにサブウーファーを置いたりするとサブウーファーの性能が十分に発揮されないことがあります。
- 横置きにもできます（☞ 取扱説明書 14 ページ）。

本機は右図のように音声をビーム化して出力し、壁に反射させてサラウンドを作り出します（矢印は５チャンネル出力時の音声ビームと各ビームの経路を表しています）。効果的なサラウンド感を得るため、ビームの経路と家具などの障害物が重ならない場所に右図のように本機を設置してください。

①フロント左チャンネル　④サラウンド左チャンネル
②センターチャンネル　⑤サラウンド右チャンネル
③フロント右チャンネル



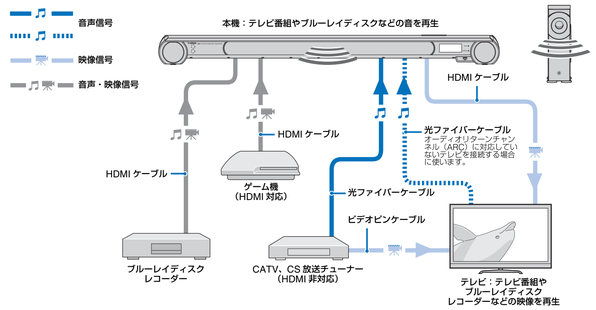
© 2012 Yamaha Corporation

Printed in Malaysia　ZD75590 [Ja]

設置 ▶ 接続 ▶ 設定 ▶ 再生

YSP-4300 ／ YSP-3300 を接続しましょう

本機にテレビとブルーレイディスクレコーダーやゲーム機などを接続すると、音と映像は下図のように伝達されます。



- 電源コードは、すべての接続が完了してから接続してください。
- ケーブルのプラグや端子に損傷をあたえる原因となりますので、プラグを差し込む際に強い衝撃をあたえないようにしてください。

■ テレビ、ブルーレイディスクレコーダーを接続する

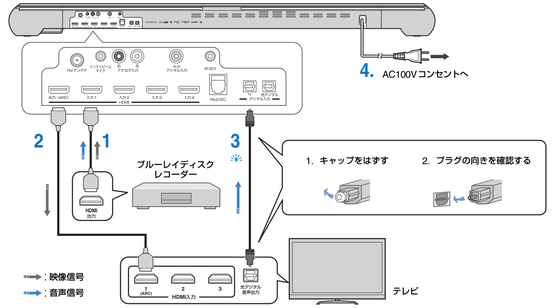
ケーブルの接続は以下の順番で行ってください。

1. HDMI ケーブル（別売）
ブルーレイディスクのデジタル映像・音声を本機に入力します。

2. HDMI ケーブル（別売）
ブルーレイディスクのデジタル映像をテレビに映します。

3. 光ファイバーケーブル（付属）
テレビのデジタル音声を本機で再生します。

4. AC100V コンセントへ



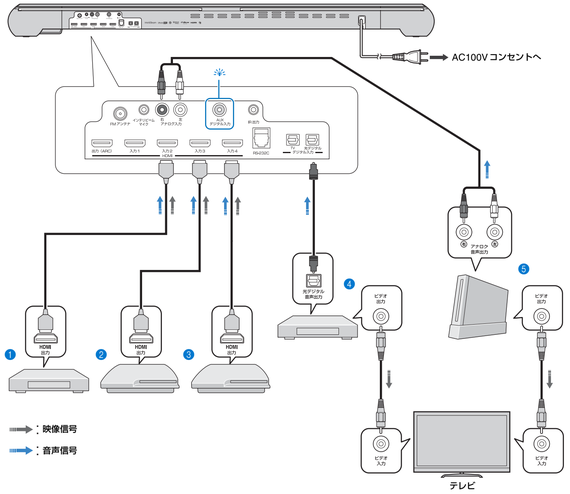
ヒント

オーディオリターンチャンネル（ARC）対応のテレビの場合
- HDMI ケーブルはテレビのオーディオリターンチャンネル対応端子（「ARC」などの表示のある端子）に接続してください。光ファイバーケーブルの接続は必要ありません。
- オーディオリターンチャンネル（ARC）を有効にするには、本機のHDMI コントロール機能をオンにしてください。（☞ 取扱説明書 63 ページ）。

オーディオリターンチャンネル（ARC）とは？
テレビの出力するデジタルオーディオ信号を、HDMI ケーブルを通して本機へ伝送する機能です。この機能により、テレビから本機へ接続する光ファイバーケーブルを省略することができます。

■ ゲーム機やCATV、CS 放送チューナーなどを接続する

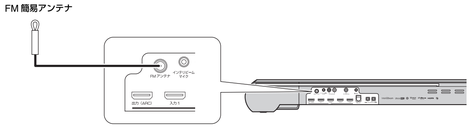
	外部機器（例）	接続ケーブル
HDMI 対応	❶ CATV、CS 放送チューナー	HDMI ケーブル（別売）
	❷ ゲーム機	HDMI ケーブル（別売）
	❸ ゲーム機	HDMI ケーブル（別売）
HDMI 非対応	❹ CATV、CS 放送チューナー	光ファイバーケーブル（付属）、ビデオピンケーブル（別売）
	❺ ゲーム機	ステレオピンケーブル（別売）、ビデオピンケーブル（別売）



ヒント
同軸デジタル出力端子がある機器を追加する場合は、市販のデジタル音声ピンケーブルで本機のデジタル入力AUX（同軸デジタル）端子と接続してください。

■ FM アンテナを接続する（YSP-4300 のみ）

付属の FM 簡易アンテナを FM アンテナ端子に接続します。

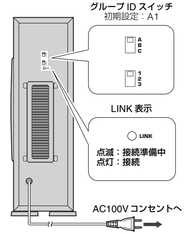


■ サブウーファーを無線接続する

本機のサブウーファー（NS-WSW160）はセンターユニットと無線で接続されます（AirWired）。

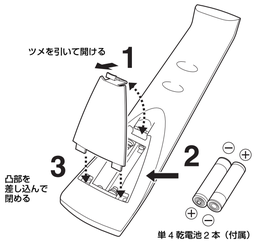
無線で接続するには、センターユニット、サブウーファー、および付属のトランスミッターを同じグループ ID にします。これらの機器のグループ ID はあらかじめ「A1」になっているので（初期設定）、サブウーファーの電源コードを AC コンセントに接続するだけで、センターユニットと無線で接続されます。
無線で接続されると LINK 表示が点灯し、サブウーファーの電源がオンになります。

センターユニットの電源をスタンバイにすると、サブウーファーの電源がオフになり、LINK 表示は消灯します。

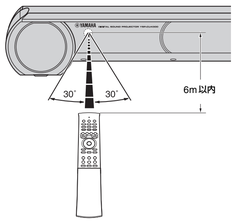


■ リモコンの準備をしましょう

電池を入れる



操作範囲

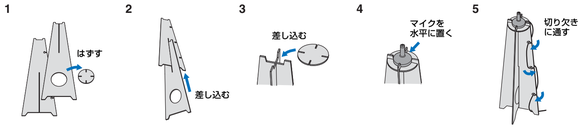


最適なサラウンド効果を自動で設定しましょう

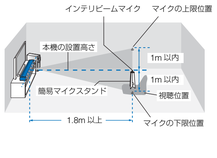
付属のインテリビームマイクを使用してリスニングルームの環境を測定し、各チャンネルの設定を自動的に調節します。
測定中は大きなテスト音が出力されます。小さなお子様が部屋にいる場合や部屋に入ってくる可能性がある場合は、自動設定機能を使用しないでください。

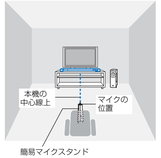
1. インテリビームマイクを実際に視聴する位置に設置する

下図のように付属の簡易マイクスタンドを組み立て、インテリビームマイクを上に置いて使用します。インテリビームマイクは傾かないよう、水平に置いてください。



簡易マイクスタンドを利用し、マイクをできるだけ視聴時の耳の高さとなる位置に設置してください。
ソファーの背もたれなど、マイクと壁の間に障害物（壁に接している家具は除く）がある場合には、障害物を移動したり、マイクをより高い場所に設置してください。





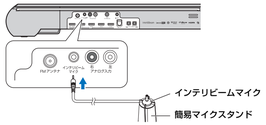
2. リモコンの電源キーを押す

本機の電源がオンになります。

3. テレビの電源を入れ、テレビの映像入力切替を操作して、本機からの映像に切り替える

表面の「テレビ、ブルーレイディスクレコーダーを接続する」のように、本機とテレビをHDMIで接続した場合は、テレビの入力切り替えボタンで「HDMI1」（本機からの入力）を選びます。

4. インテリビームマイクを本機背面のインテリビームマイク端子に接続する



自動設定（確認・準備）

マイクを接続してください。
マイクを本体の正面で1．8m以上離し、正しい場合に設置してください。
測定にはおよそ3分かかります。
決定を押したら部屋から出てください。

［決定］：開始
［戻る］：中止

5. 部屋の環境ができるだけ静かに保たれていることを確認する

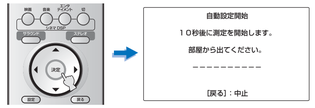
正確な測定・設定のため、エアコンなど動作音を発生する機器がある場合は、電源を切ってください。

ご注意

次の手順を実行したあと、部屋から出てください。測定開始後に部屋の中にいると、ビーム経路を遮ってしまったり、マイクが声や音を拾ってしまったりして、最適な設定が行われない場合があります。
部屋の外に出るときは、本書も一緒にお持ちください。測定は開始から終了まで約3分かかります。その間は部屋の外でお待ちください。
測定中に自動設定を中止したい場合は、リモコンの戻るキーを押してください。

6. 決定キーを押して測定を開始し、10秒以内に部屋の外に出る

測定中の項目に従って、画面が自動的に切り替わります。
測定が終了すると終了音（チャイム音）が出力され、測定結果画面が表示されます。
「環境チェック　：エラー」と表示された場合は、取扱説明書の26ページを参照し、再度設定してください。



自動設定開始

10秒後に測定を開始します。

部屋から出てください。

［戻る］：中止

約3分後

測定結果

測定が終了しました。

環境チェック　：完了
ビームモード　：5ビーム／プラス2

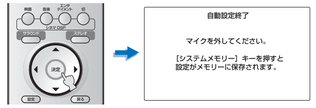
［決定］：設定する
［戻る］：設定しない

ヒント

- 本機の設置位置により、測定結果表示画面は異なります。
- エラー音（ブザー音）が鳴り、画面にエラーメッセージが表示された場合は、「エラーメッセージが表示されたら」（☞ 取扱説明書25ページ）を参照して問題を解決してください。その後、戻るキーを押して再度設定してください。

7. 決定キーを押す

測定結果を本機に設定します。
- システムメモリーキーを押して、複数の測定結果を保存することもできます（☞ 取扱説明書27ページ）。



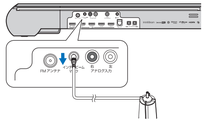
自動設定終了

マイクをみてください。

［システムメモリー］キーを押すと
設定がメモリーに保存されます。

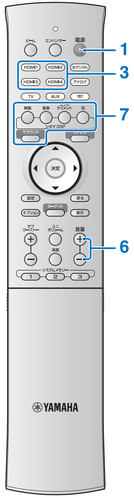
8. インテリビームマイクを外す

マイクは大切に保管してください。
測定結果は本機に記憶されます。



再生しましょう

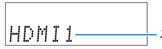
付属の「サラウンド確認用DVD」を再生して、正しく接続・設定されているか確認します。ここでは、表面の「テレビ、ブルーレイディスクレコーダーを接続する」のように接続した場合を例にとり、説明します。



1. 電源（⏻）キーを押して、本機の電源をオンにする

2. テレビとブルーレイディスクレコーダーの電源をオンにする

3. HDMI1-4キーを押してブルーレイディスクレコーダーを選ぶ



4. テレビの入力を「HDMI入力1」に設定する

5. ブルーレイディスクレコーダーで付属のサラウンド確認用DVDを再生する。

サラウンド確認用DVDについては付属の「サラウンド確認用DVD説明書」をご参照ください。

6. 音量（＋／－）キーを押して、音量を調節する

ヒント

テレビから音が出ている場合はテレビのリモコンで消音してください。

7. サラウンドキーを押した後でシネマDSPキーを押して、お好みのサウンドに設定する

ヒント

再生されない場合は
- 本機とブルーレイディスクレコーダーの接続を確認してください。
- ブルーレイディスクレコーダーの音声出力設定がデジタル音声出力に設定されているか確認してください。
- テレビの入力が本機からの入力になっているか、確認してください。

■ テレビを視聴する

1. テレビのリモコンで見たいデジタル放送番組を選ぶ

2. TVキーを押す

ヒント

テレビと本機を連動させる
HDMIコントロール（リンク）機能に対応したテレビを使用している場合、テレビのリモコンで本機をコントロールすることができます。設定については取扱説明書の28ページをご覧ください。

■ FM放送を聴く（YSP-4300のみ）

1. FMキーを押す

2. 選局《／》キーを押す

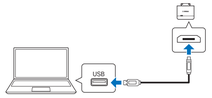
■ 付属のトランスミッターを使ってiPodを再生する

1. トランスミッターにiPodを接続する

2. iPodで曲の再生を始める

■ 付属のトランスミッターを使ってパソコンの曲を再生する

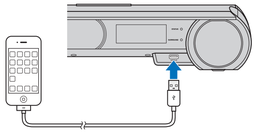
1. 付属のUSBケーブルでトランスミッターとパソコンを接続する



2. パソコンで曲の再生を始める

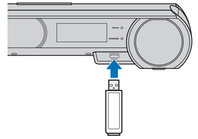
■ USB端子に接続して、iPodやUSB機器の曲を再生する（YSP-4300のみ）

iPodに付属のUSBケーブルを使って、前面のUSB端子に接続する



iPodの再生については、取扱説明書48ページをご覧ください。

USB機器を前面のUSB端子に接続する



USB機器の曲の再生については、取扱説明書54ページをご覧ください。

本機をさらに活用する方法については、付属の取扱説明書をご覧ください。